

2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 2 月 5 日作成)

小委員会名	東洋建築史小委員会		主 査 名：山田 幸正 就任年月：2007 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会		委員長名：谷 直樹 主 査 名：
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東洋建築史学の方法論の研究 ・ 東洋建築史学の教育・研究および専門家育成に関する継続的な情報収集 ・ 東洋諸国における建築的遺産の保存と修復に関する調査研究とそれらの情報収集 (基礎的な資料のデータベース化) および国際協力への寄与 ・ 研究成果の公表 (シンポジウムおよび公開研究会の開催と記録の刊行等) など 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	上野邦一 (奈良女子大)、大田省一 (東大)、岡田保良 (国土館大)、小野邦彦 (サイバー大)、片桐正夫 (日大)、黒津高行 (日本工業大)、重枝 豊 (日大)、中西 章 (東工大付属工高)、西本真一 (サイバー大)、野々垣 篤 (愛知工大)、深見奈緒子 (早大)、福田美穂 (京大)、山根 周 (滋賀県大)、山田 幸正 (首都大)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2009 年度予算	円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス：： http://news-sv.aij.or.jp/rekishi/s2/index.htm	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1.
講習会	1. 参加者数 名
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 第 2 回若手研究者による公開研究会 (4/23) 参加者数 17 名 チェン・ラター「クメールレンガ造建築の構造技術の発展過程に関する研究」 小嶋陽子「10 世紀の伽藍構成にみる造営手法の変化について」 2. 第 3 回若手研究者による公開研究会 (6/24) 参加者数 18 名 佐藤桂「カンボジア、コー・ケー遺跡群の建築的・都市的特徴に関する再考察」 3. 第 4 回若手研究者による公開研究会 (10/30) 参加者数 12 名 和田一将「インド、マーマラプラムの遺跡群の「小祠堂装飾」に関する考察」
大会研究集会	1. 参加者数 名
対外的意見表明・パブリックコメント等	1.
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 若手研究者のための情報発信および情報交換の場として役割を果たした。 2. 東南アジア・南アジアを中心に、近年の研究動向や研究状況等が収集できた。 3. 将来のシンポジウムや研究集会等の企画につながる課題等が抽出できた。
委員会活動の問題点・課題	1. 一部重要な地域で専門研究者が手薄な状況にある。 2. 予算執行に困難がある (地方の若手研究者への旅費/謝金の支払いができないなど)。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。